LEONARDO DA VINCI

CENA

講演会 歴史料理探訪
～浜名湖うなぎ「でしこ」で再現する
レオナルド・ダ・ヴィンチの描いた料理～

歴史料理研究家の遠藤雅司氏によって、ルネサンス料理が浜名湖産の「でしこ」でよみがえる！



最後の晩餐

ルネサンス

2026
12.19 SAT
13:00 - 16:00
（12:00 開場）

［ゲスト講師］
歴史料理研究家 遠藤雅司氏（音食紀行）

▲お申し込みはこちらから

［会場］
静岡文化芸術大学講堂

［申し込み情報］
定員300名　要事前申込　無料

［概要］

13:00～
[1] 本学教員によるレオナルド・ダ・ヴィンチと絵画の概説
・「ミラノのレオナルド」
　萩原里香（静岡文化芸術大学 国際文化学科 准教授）
・「美術史からみたレオナルド『最後の晩餐』とうなぎ説」
　藪田淳子（静岡文化芸術大学 芸術文化学科 講師）

13:45～
[2] 遠藤氏による歴史料理探訪
・「レオナルド・ダ・ヴィンチがいざなう食の巡礼―
　―手稿と料理書からよみがえるルネサンスの食卓」
　遠藤雅司（音食紀行 歴史料理研究家）
・「でしこ紹介」
　小川博之（浜名湖養魚漁業協同組合 本部長）

15:00～
[3] 試食会 書籍販売会

関連企画「レオナルド理想都市模型と水路」展
監修：松田達（静岡文化芸術大学 デザイン学科 准教授）
静岡文化芸術大学 図書館・情報センターにて 12/7-12/19 開催



レオナルド・ダ・ヴィンチの壁画『最後の晩餐』に描かれていたのは「うなぎ」だった !?

主催｜静岡文化芸術大学国際交流センター/図書館・情報センター
協賛｜浜名湖養魚漁業協同組合、浜名湖うなぎ・すっぽん倉治郎
後援｜浜松市、イタリア文化会館、公益財団法人日伊協会、イタリア学会
問い合わせ先｜静岡文化芸術大学 学生支援室（平日 9:00～17:00）
053-457-6121 ryugaku@suac.ac.jp
チラシデザイン｜太田愛理

公立大学法人
静岡文化芸術大学
SUAC

ISTITUTO italiano DI CULTURA TOKYO

最後の晩餐 ルネサンス

講演会 歴史料理探訪

～浜名湖うなぎ「でしこ」で再現するレオナルド・ダ・ヴィンチの描いた料理～

歴史料理研究家の遠藤雅司氏をゲスト講師に迎え、ルネサンス期を代表する芸術家レオナルド・ダ・ヴィンチ（1452–1519）が残した手記からレオナルドの食の世界を垣間見、食を通してルネサンス時代を体感するイベントです。レオナルドの代表作である壁画『最後の晩餐』に「うなぎ」が描かれていたという説を手がかりに、浜松を象徴する食材・うなぎを通して、イタリアと日本の食文化の共通性を探ります。遠藤氏は「音食紀行」を主宰し、全国各地で「歴史料理」に関するイベントを開催しており、静岡県では今回が初開催となります。今冬刊行予定の著書『レオナルド・ダ・ヴィンチと巡る2000年の食の歴史』では、『最後の晩餐』に描かれた食卓についても綿密に考察されています。当時の食を読み解く講演と、再現料理の試食会をお届けします。使用するのは、現代の浜名湖で生まれたうなぎ「でしこ」。浜名湖養魚漁業協同組合の全面協力によって実現しました。ルネサンス期の食文化と現代の浜松の食材との出会いによる、時代と地域を超えた文化交流をお楽しみください。講演後には、遠藤氏ご本人による著書の販売も予定しています。


撮影／久保田狐庵

浜名湖養魚漁業協同組合「でしこ」とは?

「でしこ」は、125年以上の歴史を持つ浜名湖養鰻の技術とノウハウを結集して生まれた新ブランドうなぎです。大豆イソフラボン由来の飼料を活用して育てたメスうなぎを中心に、ふっくらと柔らかな身質と豊かな脂の旨味、香ばしく柔らかな皮を実現。浜名湖養魚漁業協同組合が定める厳格な基準と品質検査をクリアしたものだけが認定される、浜名湖うなぎの最高傑作です。

ゲスト講師紹介


撮影／五十嵐美弥（小学館）

遠藤雅司（音食紀行）

歴史料理研究家。世界各地の歴史上の料理を文献から再現し、音楽とともに味わうプロジェクト「音食紀行」主宰。実食イベントの開催、レストランとのコラボレーション、テレビ番組への料理提供・監修など幅広く活動する。著書に『歴メシ！』（柏書房）、『英雄たちの食卓』（宝島社）、『宮廷楽長サリエーリのお菓子な食卓』（春秋社）、『古代メソポタミア飯』（大和書房）、『食で読むヨーロッパ史2500年』（山川出版社）、『歴メシ！決定版』（晶文社）、『食卓の世界史』（ちくまプリマー新書）、『食で読む東方見聞録』（山川出版社）、『戦国めし、南蛮メシ』（亜紀書房）がある。2026年には『レオナルド・ダ・ヴィンチと巡る2000年の食の歴史』を刊行予定。漫画『Fate/Grand Order 英霊食聞録』（KADOKAWA）では食文化と料理を監修するほか、明治の食育サイト「偉人の好物」の監修も担当する。

本学教員紹介

萩原里香（国際文化学科 准教授）

専門はルネサンス、バロック時代のイタリアの舞台芸術。東京藝術大学音楽研究科音楽文化学音楽文芸博士後期課程修了。博士（学術）。単著『コラーゴ：オペラ黎明期の舞台上演責任者』（法政大学出版局、2025）にて、第52回国際フライアーノ賞「第24回イタリア語イタリア文学海外研究者賞 -ルカ・アッタナシオ- 」を受賞。2026年度より現職。

藪田淳子（芸術文化学科 講師）

神戸市生まれ。神戸大学大学院博士後期課程修了、博士（文学）。日本学術振興会特別研究員としてドイツ、レーゲンスブルク大学留学。2024年より現職。共著「イメージ制作の場と環境」、編著「山水画と風景画のあいだ—真景図の近代」展図録。専門はドイツと近代日本の美術、風景画、キリスト教美術。

2026 12.19 SAT　13:00 - 16:00（12:00開場）

［会場］静岡文化芸術大学講堂
［申し込み情報］定員300名　要事前申込　無料

〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央二丁目1番1号 ｜Tel.053-457-6121（代表）｜Fax. 053-457-6123
［徒歩］JR浜松駅から徒歩15分　［バス］浜松駅バスターミナル 10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車
［遠州鉄道］「遠州病院駅」下車、徒歩8分
※学内に来客用駐車場はありません。公共交通機関等をご利用ください。

